

ワークショップ カントールの舞台の俳優術

開館25周年
芸術フェスティバル

カントールの劇団Cricot²に在籍した
俳優リュトウカ・リーバによるワークショップ

20世紀を代表し、世界に衝撃を与えたポーランドの前衛芸術家タデウシュ・カントール。舞台や映像の演出家であり、美術家としてドロイングや自らの舞台に使う小道具などのオブジェの創作もした。上演中にはカントール本人が常に舞台上に居て、俳優たちに指示を出した。俳優たちは、いわゆる職業俳優ではなく、主にアーティストや他の職業を持つ生活者だった。俳優は、カントール作のオブジェや人形と等価に舞台上に配された。

「俳優はオブジェである」そして「オブジェは俳優である」というカントールの流儀により、俳優はどのように、あれらの驚異の舞台を演じたのか？カントールの劇団Cricot²の中心メンバーの一人だったリュトウカ・リーバ女史による3日間のワークショップ。カントールの劇世界を体感してみたい方のご参加をお待ちしています。



カントール「私は二度とここには戻らない」舞台写真。(左：リュトウカ・リーバ)

リュトウカ・リーバ プロフィール

ポーランド生まれ。1979年から1992年までタデウシュ・カントールの劇団Cricot²に所属。「ヴィエロポーレ・ヴィエロポーレ」(1980)、「くたばれ! 芸術家」(1985)、「愛と死の機械」(1987)、「私は二度とここには戻らない」(1988)、「今日は私の誕生日」(1991)などの作品に出演。ミラノ、アヴィニオンでのカントールのワークショップでは通訳、アシスタントを務めた。1994年からは演出家マリー・ヴェッシーエルと数々のワークショップを行うほか、女優、指導者、演出家、翻訳家としてイタリア、フランス、アメリカ、イギリス、ブラジル、ベルギーなどで国際的に活動している。

日程: 2015年(平成27年) **12月18日(金) ~ 20日(日)**
 各日: 昼コース 11:00 ~ 15:00、夜コース 17:00 ~ 21:00
 会場: 東京芸術劇場 B2F リハーサルルームL
 参加費: 1セッション2,000円(3回で6,000円)

注意事項

- 各コース 3日連続での受講をおすすめします。
- 裏面のお申し込み用紙にご記入の上ファックス、郵送にてお申し込み下さい。尚、東京芸術劇場ボックスオフィス窓口でもお申し込みいただけます。
- 応募締め切り: 2015年12月11日(金)
- カントールの芸術に関心をお持ちの方に向けてのワークショップです。一般的な俳優養成講座ではございません。詳しい内容につきましてはお問合せください。
- 各定員20名。応募多数の場合は書類にて選考を行わせていただきます。ご参加いただく方にはご連絡を差し上げますので、参加費を所定の方法でお支払い下さいませ。
- 応募後のキャンセルはご遠慮ください。

お問合せ・申込
東京芸術劇場ボックスオフィス
 0570-010-296 (休館日を除く10~19時)
<http://www.geigeki.jp/t> (PC) <http://www.geigeki.jp/i/t> (携帯)

主催: 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
 東京都/アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
 共催: 後援: ポーランド共和国大使館
 協力: コーディネート:
 助成: 平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

東京芸術劇場
 Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
 TEL: 03-5391-2111

<アクセス> JR, 東京外池袋、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口で直結しています。